

## 看護の統合と実践授業全体計画

統合分野	開講年次	単位	時間	担当者	
看護の統合と実践	3年次	6	210	専任教員	
科目構成	看護管理と災害看護、医療安全と感染管理、看護実践と研究、統合技術演習、統合実習				
授業目的	<p>看護の統合と実践は、いままでの学習を統合するとともに、チーム医療すなわち多職種との協働における看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップを理解し、看護マネジメント、医療安全などの基礎的能力を養う。これらの内容は、各看護学を学んだ後で、3年間の総まとめとして、学習内容を統合して「もう一度」学ぶという趣旨である。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 看護のマネジメントできる基礎的能力を養い、看護業務を行う一員としての役割と責任を学ぶ。また、災害直後から支援できる看護の基礎的知識について学ぶ。</li> <li>2. 医療安全、感染管理の重要性を理解し、予防に必要な基礎的能力を養う。</li> <li>3. 看護研究の基本的知識を習得し、看護を多角的視点から考察し、研究の態度を養う。</li> <li>4. 実際の看護業務を疑似体験し、看護技術の総合的な判断・対応を学ぶ。</li> <li>5. 実習では、看護チームの一員としてチームメンバーの役割責任について考え、知識・技術・態度を統合し主体的に看護を実践する能力を養う。</li> </ol>				
授業目的	看護管理と災害看護	医療安全と感染管理	看護実践と研究	統合技術演習	統合実習
単位・時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	1単位 30時間	2単位 90時間
学習の内容	<p><b>看護管理</b> 看護管理とマネジメント、看護サービスと経済のしくみ、マネジメントに必要な知識と技術、医療・看護の国際協力、病院における看護管理の実践</p> <p><b>災害看護</b> 災害医療 災害医療対策 救急医療とトリアージ 災害看護の役割と活動 災害サイクル 被災者への支援活動 心のケア 災害時に必要な技術 トリアージの実践 心肺蘇生法 応急処置と搬送</p>	<p><b>医療安全</b> 医療安全と安全文化 看護・医療事故の種類と構造 看護事故防止の考え方 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 医療安全とコミュニケーション 事故予防のシステムと対策 ・KYT 事故分析の種類 病院における安全管理の実践 診療の補助の事故防止(ME機器関連)</p> <p><b>感染管理</b> 感染経路別予防策 感染対策実習</p>	<p>看護研究の意義・目的 看護研究プロセス 文献検索と検討 研究計画書の目的と内容 研究論文のまとめ方と発表 看護研究の倫理 ケーススタディの計画と実施 ケーススタディの実践</p>	<p><b>1段階</b> 複数患者の援助の優先順位を考えた行動計画の立案、突発的な割り込み状況において優先度の判断</p> <p><b>2段階</b> 対象の状態の変化を判断し、優先すべき援助を安全・安楽に実施できる</p>	<p><b>目的</b> 看護チームの一員として、主体的に看護を実践し、チームメンバーの役割について考え、その責任を果たす行動について理解できる。</p> <p><b>目標</b> 1. 看護チームの一員として受け持ち患者のケアの責任を果たす行動について理解できる。 2. 看護師として必要な態度と自己の課題を明確にできる。</p>
テキスト	看護管理 災害看護学 臨床外科看護 総論	医療安全 看護マネジメント入門	はじめてでも迷わない看護のためのケーススタディ	看護実践マネジメント 看護実践マネジメント入門	看護実践マネジメント 看護実践マネジメント入門
関連科目	保健医療論、看護学概論、基礎看護学、老年看護学、成人看護学				
評価方法	筆記試験 レポート 演習参加態度	筆記試験 レポート 演習参加態度	ケーススタディ論文、発表	レポート 演習参加態度	実習評価表による総合評価